

## 令和3年度第3回義務教育学校校舎建設検討委員会（議事要旨）

期 日：令和3年11月10日19時～

場 所：山村開発センター 老人研修室

出席者：後藤一則、下村敏彦、渡部紀子、安達才智、小谷裕子、川上誠之進、世垣光、小川明男、遠藤和也、神庭賢一

欠席者：松本佳久、松永浩幸、廣瀬俊介

### 1. 開会

- ・教育長あいさつ

すべての方に納得していただくのは難しいかもしれないが、子供たちの学びと安全を第一に考えながら、また良い効果もあると思うのでそのあたりも考えながら話を進めていただきたい。

### 2. 委員長あいさつ

- ・皆さんのいい意見を聞きながら前に進めていきたい。

### 3. 報告

#### （1）現在までのまとめ

##### ○建設計画図（案） 【資料1】

- ・配置に大きな変更はなし
- ・増築面積 2108.58 m<sup>2</sup>、改修面積 2737.96 m<sup>2</sup>

##### ○建設計画内容 【資料2】

- ・前回からの変更点  
昇降口のレイアウト、放送室の位置、図書館のレイアウト、職員室のレイアウト、職員室からの出入り口、会議室の広さ、特別教室（理科室、被服室、調理室、技術室、図工・美術室）のレイアウト、音楽室のレイアウト
- ・2階と3階の旧トイレは事業費との兼ね合いがあるが現状どおりとなるかもしれない
- ・9月補正予算の状況  
301,620千円を補正（委託費 1,320千円、工事費 300,300千円）  
国庫補助金が110,000千円で確定
- ・12月補正予算の予定  
根雨小学校仮移転に必要な費用、不用品処分費、増築部分の工事費及び工事監理費

##### ○増築する棟の多目的ホールに水道はないか

→水道はない

##### ○子供教室、地域の方の使用、避難所などに使用するなら手洗い程度はあったほうが良いのではないかと。

→検討する

##### ○2階3階の現行のトイレを洋式にすることができるか

→各トイレに1か所はすでに洋式化している

##### ○増築部分のトイレは洋式か。今の子どもは和式に慣れていない。洋式が多いほう

がよい

→増築部分のトイレは乾式である。先生方の意見では湿式がよいとのこと。旧トイレは湿式のままにしようと思う。乾式と湿式では施工方法が変わってくる。洋式なら乾式のほうがよいと思うが水を流して掃除するなら湿式が良い。また、現在のトイレの使用頻度がどれくらいあるか。100人程度の人数なので今までも足りていたと思う。改修費3億円で納めるためにトイレはそのままになるかもしれない。

○低学年の児童はトイレを失敗することがある。水を流して床を磨かないと匂いや汚れが取れない心配がある。

→設計業者とも協議しているがどちらが良いか

○他校で乾式のトイレを経験したが、水を流して掃除ができないので困った。

→乾式は排水口がない

○乾式のメリットはなにか

→掃除は掃き掃除と拭き掃除になる。水を流すと菌が繁殖しやすいので衛生的に乾式のほうがよいとされている。可能であれば湿式も検討したい。

○従来の水が流せるほうが望ましいということで結論付けてよいか（特に低学年は）。掃除のやりやすさを判断基準とする。

→現場の声ということで考慮する。現在は掃除もしやすくなっているかもしれない

○年に一度くらい業者に入っていて徹底的に清掃・除菌をするのもよいかもしれない。

○多目的ホールを使用する場合のトイレはどこを使用するか

→1階のトイレを使用する。入り口は玄関から出入りする

●教室の床について、普通教室、特別支援教室の床をフローリングにする方向に進めたい。既存校舎の多目的教室は現状のまま。多目的教室棟の多目的ルームは空調と照明のみの改修。調理場は現状のまま残す。多目的教室棟の2階の床は現状のままの予定。技術室と図工・美術室の準備室は必要か。

○特別に部屋がなくてもよいのではないかと思います。

○技術室は現在広いスペースがある。

○生徒数も減り、部屋で区切るよりも自由に使用できる空間があったほうがよいかもしれない。学校と事務局で詰める。

#### 4. 協議

##### （1）工事期間中の根雨小学校児童の学習の場について【資料3】

●既存校舎全体を工事するため、粉塵、騒音、安全面から学習の場として適切ではない。選択肢として日野中学校と黒坂小学校の2案を提案する。それぞれのメリット、デメリット、予想される費用について説明。

（黒坂小の場合）

##### ●メリット

- ・開校後に予想される問題点の事前把握が可能
- ・学習のスペースが有効に活用できる

##### ●デメリット

- ・通学に時間と費用がかかる（根雨小に集合後バスで輸送）
- ・一つの校舎に2つの学校が存在するため混乱が生じる可能性あり
- ・学校間の調整が必要

●費用

- ・バス費用 140万円
- ・職員室は管理棟2階のコンピューター室にした場合、LAN配線に100万円

（日野中の場合）

●メリット

- ・開校後に予想される問題点の事前把握が可能
- ・通学に混乱が生じない

●デメリット

- ・小学生が使用する教室の空間が狭くなる
- ・中学生が少人数学習などで使用している部屋が使用できなくなる。
- ・特別教室や体育館使用の調整が必要
- ・生活時間が異なるため調整が必要
- ・設備が合わない
- ・行事の調整が必要

●費用

- ・エアコン設置費用 50万円
- ・職員室のLAN配線 150万円
- ・低学年用に男子トイレの小便器改修
- ・教室を2つに分けるためのパーテーション 66万円
- ・ホワイトボード 9万円

●日野中学校に行った場合の配置案は別紙のとおり

○黒坂小に行った場合、教室は年度当初から合同で使用するのか

→担任が2人体制で合同で行うため担任の調整が必要

○中学校に行く場合は教材、教具、図書などを持っていかなければならない

●持っていくものは職員室の机いす、児童用の机いす（必要数）、電子黒板、学習で使用するものは必要最低限の物を運ぶ。図書はスペースがないので必要なものを持っていく、教室に置くなど工夫が必要。工事が終われば持って帰らなければならない。工事が少ない多目的ホールなどに荷物を置く。

○黒坂小の場合、バスで根雨小から黒坂小まで輸送する案だが、バスで根雨小まで通っている児童もいったん根雨小に集合してバスで行くのか

→その通り、拾っていくのは時間がかかる

○帰りはどうするか

→バスで帰るが子ども教室があるため利用が少ないかもしれない。

○中学校の場合の子ども教室はどうするか。

→図書館や空き教室などで勉強をさせてもらえればと思っている。長期休業中は開発センターを予定している。

○4月から1年間は根雨小が使用できないということでよいか

→12月末を目標にしているが、遅くとも2月末には工事を完了したい

○根雨小学校の子ども教室利用者数はどれくらいか

→20人くらいだと思う

○子供教室を黒坂でした場合人数が多すぎないか

→以前はそのくらいいたのではないか、多目的教室以外の教室を使用することも考えられる

(黒坂小の意見)

- ・職員は日野中学校に行かれるのがよいという意見。教室が狭いが不足する部分をプレハブなどで補えばよいのではないか
- ・保護者の意見
  - ・日野中の場合空き教室があるのか
  - ・黒坂小の場合、音楽界などそれぞれの学校が単独で参加している行事をどうするか。
  - ・一緒に学習することに関しては肯定的な意見
  - ・それぞれの学校が最後になる年なので、最後の締めくくりをきちんとそれぞれの学校でやりたい。できれば今のままで1年間最後の締めをするのが良いという意見。

(日野中の意見)

- ・職員は物理的な面で厳しいところもあるが、調整すればよいので対応できないわけではない。根雨小の先生や保護者が望めばそのようにする。
- ・保護者からは影響はあるが、どうにかしないといけないということが分かっているので絶対ダメという意見はなかった。

(根雨小の意見)

- ・根雨小の保護者は日野中を希望する。通学のストレスが少ないことと、日野学園に向けて中学校の保護者との連携を図ることができるのではないかと、行事等調整が必要だが、次年度の日野学園に生かせるのではないかと、先生方の意見も日野中案が多かったため
- ・職員は日野中を希望する声が多かった。通学の負担の少なさと近いので教材を取りに行ったりするのが便利、黒坂小はどう働いたらよいかわからないという不安の方が多かった。

○工期を伸ばすことはできないか

→国の交付金を使用し繰り越しを行うので工期を伸ばすことはできない。

○根雨小学校も最後の年を根雨小学校で終わらせたいという気持ちが保護者にもある。工期が難しかったと思う。早い段階で浮きぼりになっていればよかったと思うが仕方ない。子供にとって良い方向にしていきたいと思う。

→年度の終わりは根雨小学校で終わっていただく

○工期を短くすることは可能か

→12月末がギリギリだと思う。なるべく早く完成させたい

○どちらに決まっても職員、児童ともに不安な一年を過ごすことになるので、環境の調整などは教育委員会にお願いしたい。

○工事期間中は日野中学校に行く方向で進める。

○児童や教員に負担のかからない方法を工夫していただく

→検討委員会の意見として伺った。最終的な決定は教育委員会で行う。根雨小保護者、日野中保護者に対する説明会を行いたい。

## (2) その他

特になし

## 5. その他

### (1) 次回検討委員会

日時：令和3年 月 日 ( ) 時

内容：①校舎建設案について

②その他

●議題等必要に応じて招集させていただく

○大変苦しい判断だが、これが決まらないと前に進まない。根雨小の児童、保護者には大変な負担をかけるが、同じ町内の学校としてバックアップしていきたい。